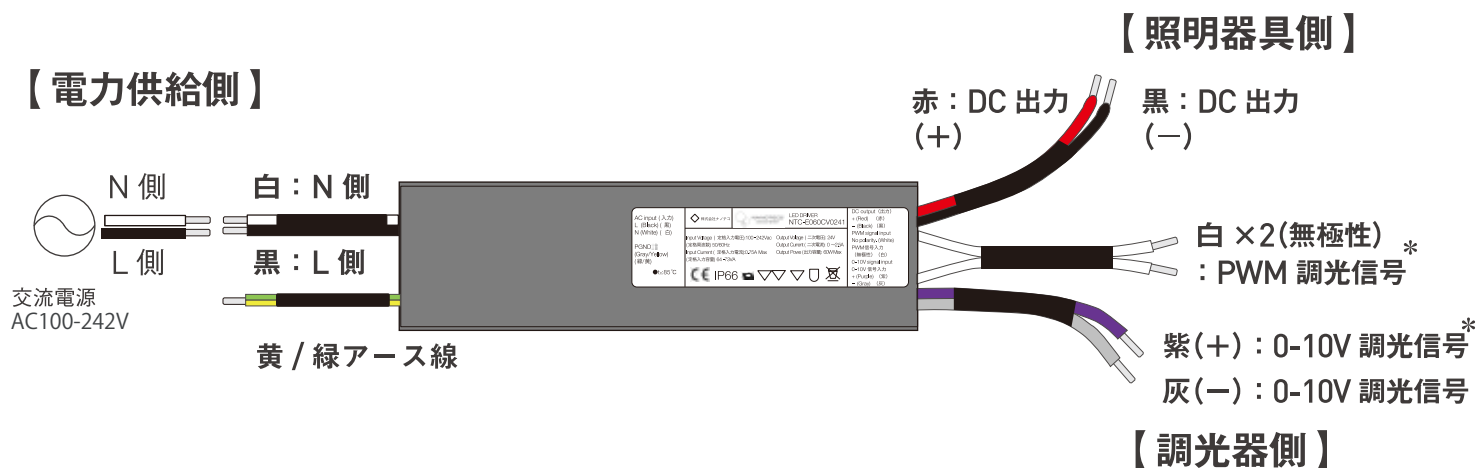


⚠ 結線時の注意事項

以下の点に注意して結線作業を行ってください。誤った結線を行った場合、動作異常・照明器具の故障・電源ユニットの故障に至る可能性があります。誤った結線により故障となった製品は、保証の対象外となります。

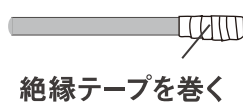
- ⚠ 電力供給側(白/黒)に照明器具・調光器を結線しないでください。
- ⚠ 照明器具側(赤/黒)に電源線・調光器を結線しないでください。
- ⚠ PWM調光信号(白/白)に照明器具・電源線・PWM方式以外の調光器を結線しないでください。
- ⚠ 0-10V調光信号(紫/灰)は、日本国内では使用しませんので絶縁処理してください。
※個別調光器と併用する場合はこの信号線と接続してください。
- ⚠ 電力供給側・照明器具側は、逆極性で結線しないでください。
- ⚠ 隣接の電線・信号線はショートしないように絶縁してください。

LED電源ユニット NTC-E060CV0241



【調光信号線】

* 未使用時は必ずケーブル先端に1本ずつ絶縁処理を行ってください。例)



LED電源ユニット NTC-E060CV0241

防塵・防滴性能: IP66 (軒下使用可)
調光対応: PWM, 0-10V,
適合基準:   RoHS指令

注意事項

この施工・取扱説明書のガイドマークについて  禁止  厳守

⚠ 警告 人身事故の原因になる危険を示します。

- 本ユニットは、必ず適合する照明器具と組み合わせて使用してください。
器具の破損や短寿命、あるいは過電流による火災、およびユニットの短寿命の原因となります。
- ユニットの指定電力を超える器具を接続しないでください。
過電流による火災およびユニットの短寿命の原因となります。
- ユニットのケースを開けたり改造したりしないでください。もしも行った場合は、保証の対象外となります。
- 取付・交換工事の際は、必ず電源を切ってから行ってください。感電の原因となります。
- 万一、発煙・異臭等の異常が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。また、異常がおさまったことを確認してから、弊社までご連絡をお願いします。
- 取付工事は、照明器具の取付説明書に従って確実に接続してください。
- 電線を接続する場合、緩み・抜けのない様に確実に接続してください。
- 接続が不完全だった場合、漏電・地絡・感電・接続部の焼損・火災の原因となります。
- ユニットの出力側を器具に接続しないまま放置しないでください。
- 施工中のやむを得ない場合には、電線を一本一本に分けて絶縁処理を施してください。
一括して絶縁処理をすると放電が起こり、火災・焼損の原因となります。
- 出力配線に中間ジョイントとして指定のないコンセント等を使用しないでください。
接続不良・定格違いにより器具の破損や火災の原因となります。
- 電線の接続点や本ユニットのケーブルに張力を加えないでください。
- 不点灯・漏電・感電・火災の原因となります。
- ケーブルを持って本ユニットを運搬しないでください。接続部での断線・絶縁破壊・接触不良による発熱が起こり、不点灯・漏電・感電・火災の原因となります。
- 紙や布、断熱材などをユニットの上に置いたり、被せたりしないでください。ユニットの温度が高くなり、保護機能が動作して照明器具が消灯したり、紙や布が焦げて火災の原因となります。
- 電線、あるいは絶縁処理部に刃物などによる傷をつけないでください。
- 傷がついた状態で使用すると、絶縁破壊により漏電・感電・火災の原因となります。
- 取付工事は必ず有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- アース工事は、電気設備技術基準に従って確実に行ってください。
- アースが不完全の場合、感電・故障の原因となります。

⚠ 注意 器具破損の原因になる危険を示します。

- 電源電圧は、定格入力電圧の範囲で使用してください。照明器具の短寿命・不点灯・ちらつき・本ユニットの故障・火災の原因となることがあります。
- 長期間使用しない場合は、部屋の湿気により絶縁が悪くなることがありますので、部屋の換気を行うか定期的に通電してください。絶縁が悪くなると、漏電・感電の原因となることがあります。
- 誤って落下させたユニットは使用しないでください。故障・発煙・発火の原因となることがあります。
- 下記の使用環境・条件下では使用しないでください。早期の錆発生・故障・落下・感電・火災の原因となることがあります。
 - ◆ 大雨などで冠水するおそれのあるところ
 - ◆ 振動・衝撃のあるところ
 - ◆ 浴室やサウナなど常時高温高湿となるところ
 - ◆ 塩素を使用しているプールなど
 - ◆ 粉塵が過度に多いところ
 - ◆ 海岸に近い害害地域など
 - ◆ 車両などの荷重がかかる場所
 - ◆ 人がぶら下がったり、足で踏みつけられたりして荷重がかかるおそれのあるところ
 - ◆ 風避けのない建物の屋上・橋梁など、明らかに強風が吹く場所・地域
 - ◆ 腐食性や引火する危険性の雰囲気 (ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー)
 - ◆ 草や木などが生え、本ユニットが覆われるようなところ
 - ◆ 氷柱が発生するような寒冷地や積雪地域
 - ◆ 凹地など水に漬かる場所や雨が伝わる場所・流水経路となるところ
- 清掃の際は、水や薬品がかからないよう注意してください。
- 電線を本ユニットの端子に触れないよう余裕をもたせてください。
- ケースの端部で絶縁被覆を傷つけ、絶縁破壊により漏電・感電の原因となることがあります。
- 取り付け後、絶縁抵抗を測定してください。絶縁が不完全の場合、火災・漏電・感電の原因となることがありますので絶縁を修復させた後、通電してください。
- このユニットはD種設置工事が必要です。設置工事を行わないと感電の原因となります。
- 安全なご使用のために、3年を目安に工事店などの専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。寿命末期には異常発熱・発煙・発火の原因となる場合があります。
- 設置後8～10年経つと外観に異常が無くて内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。
なお、周囲温度が高い、1日の点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

製品仕様

入 力 電 圧	100V/200V/242V ±6%
入 力 電 流	0.75 A max
出 力 電 圧	DC24V (定電圧型)
出 力 電 流	2.5A
出 力 電 力	60W
周 波 数	50Hz/60Hz
質 量	465g

※改良のための仕様変更は、予告なく実施されることがありますのでご了承ください。

製品寸法

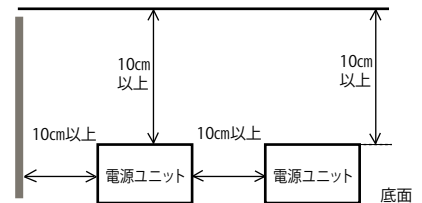
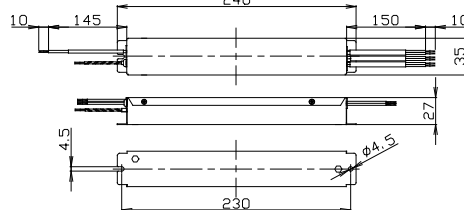
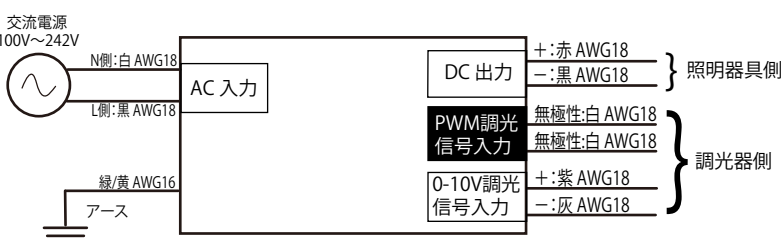


図1. 離隔距離

⚠ 取付作業時の注意

- 入力電圧が100V/200V/242V ±6%の範囲内にあることをよく確認してください。
- 電源周波数は50Hz・60Hz共用です。これ以外の電源で使用する、電源ユニットや器具の故障や短寿命の原因となります。電源側・器具側の表示をよく確認し、ケーブルを接続してください。誤って電源側・器具側の結線を逆にしたり、指定位置以外の箇所に接続すると、故障の原因となりますので絶対に行わないでください。
- 直射日光のあたる場所および直接雨のかかる場所では使用しないでください。ユニットの異常過熱・焼損・発煙・発火の原因となることがあります。
- 8～10年経過したユニットは、絶縁性能が低下していますので使用しないでください。そのまま使用すると絶縁劣化が進行し、異常過熱・焼損・発煙・発火などの原因となることがあります。
- 周囲温度-20℃～+55℃、湿度10～90%の範囲で使用してください。周囲温度が高い場合や、他の熱源から影響を受ける場合、ユニットが短寿命となったり、内蔵の保護機能が動作することがあります。
また次の事項を守ってください。
 - ・ユニットを2台以上並べて設置する場合は、相互の熱の影響を受けますので10cm以上の間隔を空けてください。(図1参照)
 - ・ユニットを周囲の壁や造営材から10cm以上離してください(底面は除く)。(図1参照)
 - ・箱の中に収納する場合、容積を十分大きくとり、かつ換気をしてユニットが過熱しないように注意してください。
 - ・光源の上部に取り付ける場合は、熱遮蔽の仕切りをするともに十分な間隔をとってください。
 - ・狭く周囲に空気の対流がなく熱がこもりやすい場所では、強制換気などをおこなって電源ユニットが過熱しないように注意してください。
- 本ユニットと照明器具との間の配線の長さは取付説明書に従ってください。特性が変化したり、異常過熱の原因となることがあります。
- 通電したまま照明器具を脱着しないでください。故障の原因となることがあります。
- 施工方法、使用方法によっては、電波障害が生じることがありますので次の事項を守ってください。
 - ・電源ユニットの入力側、出力側配線と通信ケーブルなどは、隣接しないように施工してください。
 - ・電源ユニットおよびその配線と、他の電子機器とをあまり近づけないようにしてください。
 - ・電源ユニットを使用した器具に近接してワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に動作しない場合があります。また、赤外線リモコン機器や盗難防止センサーを近接させて使用すると、器具が正常に動作しない場合があります。
 - 電源波に歪みや変動があるときは、チラツキを生じたり、若干のうなり(音)を生じる場合があります。
 - ラジオなどの音響機器の近くで点灯しますと、機器にノイズが入ることがありますのでご注意ください。
 - ノイズが入る場合は、本ユニットから1m以上離して使用してください。
 - 照明器具側から接続する電線は、照明器具の取付説明書に従ってください。
 - 漏電遮断器の種類によっては、電源ユニットからの高周波の漏洩電流の影響により漏電遮断器が動作する場合があります。この場合には高周波対応型漏電遮断器を使用してください。
 - 調光が必要な場合、本ユニットに適合する調光器を必ず使用してください。
(適合例: SX-CD1500PWMV2, SX-CD1000PWM)
 - 適合例以外の調光器をご使用の際は、弊社営業担当までご相談願います。
 - 接続する調光信号線の種類や長さは、照明器具および調光器の取付説明書に従ってください。
 - 点灯直後や調光を行う際に、僅かに音がかかることがあります。異常ではありません。
 - 図書館、病院、事務室など、静かさの要求される場所や、体育館、講堂など多数の電源ユニットを取り付ける場合は、騒音に配慮して施工してください。

配線図



※取付作業時には結線要領図もご参照願います。

- 使用しないケーブルは、先端を絶縁処理および防水処理をしてください。
- 調光信号間がショートすると器具が点灯しません。
- 本製品は調光対応ドライバーですが、接続する照明器具が非対応の場合には調光できません。
- 設置作業は、有資格者が電気設備の法令に従って行ってください。
- 設置作業は、必ずブレーカーを落としてから行ってください。
- ねじ等で取付穴を利用して確実に固定してください。
- 布や紙などの燃えやすい物で覆わないでください。
- 酸や塩素などの腐食性ガスの発生する場所、錆びやすい水や油のかかる場所に設置しないでください。
- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して弊社は一切の責任を負いません。

更新日: 2021.07.08